

## ルノープログラム留学終了報告書

## ルノー第一プログラム終了報告書

留学先国名：フランス

留学先大学名：ボルドー第一大学，国立高等工芸学校(ENSAM)

留学先大学所属：機械工学系 修士課程，研究生

留学期間：2003年4月～2004年6月

## ① プログラムについて

2003年4月～6月 語学研修…ボルドー第三大学語学研修センター(DEFLE)にて、同じプログラムで来た日本人のみからなるクラスでフランス人の先生が指導。

7月 語学研修 レベル別での夏期講習。世界中のフランス語学習者と一緒に授業を受けた。

8月 研修旅行 ルノー財団の方々，ストラスブール派遣組，MBIコースのルノー奨学生達と共に，ドイツ，スペイン，フランスの主要都市・史跡・美術館・研究所・工場等をガイド付で視察。ガイドはいつもフランス語。

9月 語学研修・ヨーロッパ理解のための特別授業

10月～2004年6月 ボルドー第一大学の学生としてENSAM LAMEFIPIにて研究活動。並行してENSAMの修士課程相当の授業を2科目履修。

## ② 留学前の準備

ルノープログラム情報は学部1年のフランス語の授業にて，里見先生から伺い，以降留学生課に足繁く通って更に詳細な情報を得た。

語学に関して，最低限仏検3級という話だったので，学部4年の前期に仏検3級取得。

授業に関しては，水曜のジャン先生・赤間先生のフランス語の授業がとて有益だった。

留学先の研究室は，かつて私が現在所属する研究室でポスドクをしていた方の母校だった関係上，比較的話がスムーズに進んだ。

語学研修の半年間を休学，9月以降から1年間を留学扱いとし，フランスで取った単位を振り替えられるようにした。

メカノマイクロ工学専攻には1年次に必修の授業があるが，それを修士過程の最終年度に取ることができるよう，専攻の了解を得た。

フランスでの研究の内容を日本のそれとリンクできるよう，日本，フランスの指導教官と相談した。(結果…フランスでの研究：合わせガラスの衝撃試験のための装置設計と文献調査，日本での研究：合わせガラス中間膜(PVB)の衝撃試験装置の設計と実験・解析…といった具合。)

ビザの取得は財団が代行してくれる。

## ③ 留学中の勉学・研究

授業登録：有

授業や研究方法についての感想：ENSAMの授業は基礎から最先端の研究内容までを1期分の授業に詰めこんでいるため，非常に進みが早い，丁寧。先生お手製の分厚いテキストに加え，各科目に演習・実験があり，相互にリンクして実施される。テストは中間試験と期末試験の2回。授業によっては毎回小テストをするものもあり，非常に有意義だった。

ENSAMは朝が早い。授業は1限が8時から，実験を受講すると7時半から開始。研究所も遅くとも9時には出ていることが暗黙の了解になっているようだった。そのためか，夜も早い。人によっては17時にはしっかり研究室を出，19時には研究室は空になる。

授業と研究を両立しようとする，あらかじめ，相当な語学力と体力・専門の理解力が無いと無理だと痛感した。私自身，授業の単位を取るための勉強でかなりの時間を取られ，研究をあまり(ほとんど)進めることができなかったのはとても残念に思っている。

## ④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

学部時代から情熱を傾けていた少林寺拳法を続けていた。ここで得た友人達とは今でも頻りに連絡をとっている。

また，個人的に，フランス国内やドイツを旅行した。国内の路線(TGV)はCarte12-25という運賃割引カードを購入していたため，かなり格安で利用することができ，とても便利だった。

ERASMSというEUの留学制度を利用してやってきた学生の為の団体では，すべての学生が参加できる交流活動を行っている，情報を得ておくとい。私自身は，ERASMS主催の旅行で，車でしか行く方法の無いラスコーへ行くことができた。

ルノーでのインターンの条件は9月のTFE(フランス語版TOEIC)の得点が750以上というもので，残念ながら私はそれに届かずに涙をのんだ。

⑤ 留学費用について

成田エクスプレスのチケットおよび成田ーボルドー間の航空券は財団から郵送されてきた。授業登録料は500ユーロ強だが、これも財団負担。生活費はルノーの奨学金で月910ユーロ程度支給され、そのうち360ユーロが住居費(ただし住宅補助申請後は月110ユーロ戻ってきた)。食費、交際費、旅行費等を含めても十分に生活可能。

⑥ 留学先での語学状況

授業・研究・日常すべての場面においてフランス語を用いるように、と財団からも度々注意を受け、研究所でも一番はじめ、フランス語での意思疎通が十分でなかった頃は一部英語を使用した他はすべてフランス語だった。

ちなみに留学前のフランス語力はフランス語検定3級程度。留学直後に受けたTFEで450点。はじめの語学研修はこれぐらいのレベルを想定していたようで、私には都合がよかった。

⑦ 就職活動について

大学院の成績がまだ出ておらず、卒業予定月が確定しないため、表立った就職活動は事実上できない状況。ルノープログラムで修士1年での留学を考えるときには、これが大きなリスクになると思われる。

これから留学生向けのセミナー等に参加し、自分に合い、かつ就職年度・月に関して融通の効く企業を探す予定。博士課程への進学を検討中。

⑧ 留学先で困ったこと(もしあれば)

予告無くバス・電車のストライキが起こるので要注意！

### ルノープログラムを希望する後輩へアドバイス

条件のよいプログラムですが、その分日本での修士課程との整合性等でリスクもかなり大きいです。もし行く場合には、自分のやりたいこと、希望をはっきりさせ、遠慮することなくそれを求めていけば、それだけ得られるものも多いのではと思います。